

## 中野区における連携教育、一貫教育のねらいと効果

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域連携を基盤とした学校教育の推進</li> <li>○ 学校間連携を基盤とした学校教育の充実</li> </ul> |
|---|



## 【ねらいと効果】

- 学力の向上
  - ・ 9年間を通して、子どもの多様な資質や能力を伸ばす系統的・継続的な学習、心の教育や生活指導と関連付けた生き方の指導ができる。
  - ・ 基礎・基本を徹底し学力の定着、個々の優れた能力を最大限に伸ばす学習ができる。
  - ・ 9年間の一貫したカリキュラムの策定による子どもたちの学習意欲の向上、学力の定着が図れる。
  - ・ 小中学校の教員の交流や出前授業などにより、新学習指導要領への対応など、教育力の向上が図れる。
- 学校生活への不適応児童生徒の解消等
  - ・ ゼロ歳から15歳まで安心して子どもを育てられる教育環境が提供できる。
  - ・ 保育所や幼稚園等と小学校の連携により子どもがより生活の変化に適応しやすい環境が図れる。（子ども家庭部との連携の強化）
  - ・ 小学校から中学校への移行によって生じる心理的負担を軽減し、ゆとりある安定した生活ができる。
  - ・ 小学校と中学校の教員が、子どもたちの情報を共有し、個々に応じたきめ細かな指導ができる。
  - ・ 幼児が小学校生活に親しみ期待を寄せたり、自分の近い将来を見通すことができる教育が可能となる。
- 学校と地域との連携の強化
  - ・ 9年間を通し一貫した取り組みにより、地域の人材活用や連携の強化が図れる。
  - ・ 一斉地域清掃、地域挨拶運動など行動連携が図れる。
  - ・ 地域行事などへの参加による地域の伝統・文化の継承が図れる。
  - ・ 社会規範など時代を超えて守るべき価値や実践力を身に付けることができる。
- 豊かな人間性や社会性の育成
  - ・ 幅広い異年齢集団による活動を通して、豊かな人間性や社会性の育成が図れる。
  - ・ 9年間を通した発達段階に即した適時・適切な指導により自己形成が図れる。
  - ・ 系統的な生き方の指導と相談機能の充実が図れる。